

# 平成 30 年度

## ソフィアだより 9 月号

日なたがなければこどもは生きない  
しかしまた、日なたばかりでも 子どもは生きられない  
日なたに生き、日かげにかばわれて、生きる子どもではある。  
わたしたちも、子どものために、一ぱいの日なたになると共に  
よき日かげにも なってやりたいものだ。

倉橋惣三

お人形をいつも同じ場所に子どもたちは片付けます。積み木はここで、パズルはここで、・・・戸外あそびは大好きだけど、もうすぐ給食。その日の気分でもっと遊びたいと思う日もあるけれど、給食が待ってるからお部屋に帰ります。みんなと一緒に歌をうたうことや、活動する中で順番を待つこともできてきます。がまんすることを覚え、さまざまな約束事を守ることを覚えながら、子どもたちの園生活はすすみます。

『マシュマロテスト』という子どもの自制心や意志力をみるテストがあります。スタンフォード大学のウォルタミシュラン博士が、行ったテストですが、4歳の子どもの対象に行います。机の上にマシュマロが1つ。「帰ってくるまで食べてはいけませんよ。食べなければもう1つ、マシュマロをあげます。」とお母さんは出て行きます。待つ時間は、15分から20分。じっとマシュマロを見る子、歌をうたって気をそらす子、食べてしまう子。我慢して食べなかった子を10年間追跡調査したところ衝動や誘惑に負けず学力も高い子に育った。との結果となったようです。その時の心身の状況などもあるかなあとも思うのですが、「自制心」「意志力」を育てることは、子育ての目標の1つ「自立」につながるものではないでしょうか。

生きている環境には小さいものも大きいものも含めて約束事があらゆる場面にあります。人と会ったら挨拶しよう。お部屋の中は走らない。順番を守る。時間を守る。乱暴はしない。はさみはいすに座って使う。・・・発達年齢にふさわしい約束事を守ることを経験し、主体的に社会とかかわることを学び自制心や意志の力が育まれるのかと思います。そして、

約束事を守るのは大人も同じ。ごみはゴミ箱に入れる。交通規則を守る、・・・大人が社会の約束事を守りエゴを捨てた姿勢が、子どもたちのみえない力を育て真の自立した人へと育つ1歩になるのではないのでしょうか。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実